

基幹労連シニアクラブ・ニュース

基幹労連退職者の会事務局

2016/06/17

第29号

2016年7月

みんなで投票に行こう!

第24回 参議院選挙



みんなで投票にいこう!

公示日 6月22日

投開票日 7月10日

期日前投票 6月23日~7月9日

比例代表は候補者名で記入しましょう!

1枚目 選挙区選挙

薄黄色の投票用紙

各都道府県選挙区の候補者名を書いて投票します。

候補者氏名 又は 政党その他の政治団体の名称若しくは略称	○ 注意 一 候補者の氏名を、欄内に「人」書くこと。 二 候補者の氏名に代えて政党その他の政治団体の名称又は略称を、欄内につづくこともできること。
○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

2枚目 比例代表選挙

白色の投票用紙

比例代表の候補者名(個人名)を書いて投票します。
※候補者名の代わりに政党名を書くこともできます

候補者氏名 又は 政党その他の政治団体の名称若しくは略称	○ 注意 一 候補者の氏名を、欄内に「人」書くこと。 二 候補者の氏名に代えて政党その他の政治団体の名称又は略称を、欄内につづくこともできること。
候補者名	

地方ブロック懇談会 第2弾を成功裏に終える

地方ブロック懇談会（第2弾）を、4月中旬から順次開催し、前回ニュースで紹介した以降、6月2日東北ブロック、6月4日北海道、6月7日東海ブロックで開催しました。九州ブロックは、地震の関係もあってシニアクラブ三役が福岡・大分、長崎・熊本の各県を個別に訪問し、意見交換を行っており、これをもって全地区の懇談会を成功裏に終えることができました。

今回の懇談会は「組織の強化・拡大」「政策実現の取り組み」を中心に、結成後3年を経過した基幹労連シニアクラブの今後の運営や、退職者連合への活動参加などについても率直な意見交換を行うことができました。政策実現の取り組み状況と今後の展開に関する意見交換が進んだことはもちろん、それぞれの県本部退職者組織の歴史や性格、構成などの違いが相互に理解されるとともに、組織運営の充実についても徐々に取り組みがすすめられていることが報告されました。各県本部の事務局長の皆様の準備のおかげで、スムーズな運営と交流ができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

今回は何としても通さねば… 東北ブロック懇談会（6/2）

6月2日（木）青森市において、青森、秋田、宮城、山形、福島各県OB会の代表など12名が参加して東北ブロック懇談会が開催されました。

組織運営の充実と強化・拡大の取り組みについて、新規加入者の拡大や雇用延長に伴う退職者の位置づけとOB会加入の問題など、各県本部の現在の取り組みの状況と課題が提起されました。

政策実現の取り組みでは、現地のOB会組織の中には「選挙はできない」ことを明確にしているところもあり、そうしたところへの取り組みの工夫をしていることや、候補予定者本人が現地に入ってきたことで理解が深まってきたことなどが紹介されました。いづれにしても今回の選挙は「氏名記入を徹底して、何としても通さねば」との決意を固めあいました。



東北ブロック懇談会（青森、秋田、宮城、山形、福島）退職者の会の皆さん

新組織に衣替えして初の総会を開催 北海道本部懇談会（6/4）

6月4日（土）北海道・新日鐵住金室蘭労働組合の会議室において、北海道本部退職者の会の第2回総会が参加者約20名で開催されました。昨年の8月末に、それまでの函館どつくのOB会のみで組織されていた退職者の会を全組織参加型の組織に改め、衣替えしてから初めての総会でした。総会で渡部正寿代表幹事は、「まだ組織的な活動はできていないが、今夏の参議院選挙の取り組みは、それぞれができる限りの取り組みを展開していこう」との呼びかけを行い、最後まで取り組みを全体で確認しました。

シニアクラブ中央から参加した小栗啓豊事務局長からは、現在の厳しい選挙情勢を踏まえて、とくに各リーダーに対し、「アタック10（10名の確実な支援の輪の拡大に向けた働きかけ）」の取り組み要請を行いました。

本総会は、中央としてはブロック懇談会の一つとして位置づけおり、総会後に行われた交流会でも参加者との率直な意見交換を行うことができ、意義ある懇談会となりました。



北海道本部退職者の会総会

「名前の記入」に特化した取り組みを 東海ブロック懇談会（6/7）

6月7日（月）名古屋市において、愛知県、岐阜県、三重県、長野県の退職者の会代表など10名が参加して開催されました。組織運営の充実・組織拡大の課題については、愛知県と岐阜県が旧産別のOB会からの移行の形態をとり、三重、長野は旧県本部の役員OB会の組織で発足しており、それぞれに工夫をしながら、組織の充実・拡大の方策をめざしていることが報告されました。今後の組織の拡大・充実は「やれるところから、やれる範囲で着実に進めていく」ことを確認しあいました。

政策実現の取り組みでは、「今回は絶対に負けられない」との思いで、各県とも組織内での浸透活動を従来以上に進めているとの報告がありました。政党との関係について様々な意見はあったとしても「名前の記入」に特化した取り組みを行うべき、との意見が出されていきました。



組織強化・政策実現に向けて 九州各県の退職者組織を訪問

6月8日（水）から16日にかけて、シニアクラブ中央の宮園会長、西澤副会長、田中副事務局長がそれぞれ九州各地を訪れ、現地の退職者の会役員との個別懇談を行いました。

大地震に対するお見舞と激励 熊本県退職者の会訪問（6/9）

6月9日（木）シニアクラブ中央の西澤昇治郎副会長（写真右）が、大地震に対するお見舞いと激励のために熊本県本部を訪問しました。退職者の会の東孝之会長（写真左）から震災内容と現況、対応状況について報告があり、その後、退職者組織の強化・拡大、政策実現の取り組み等についても意見交換しました。



シニアクラブからお見舞いと激励の気持ちを手渡し

政策実現・とどろき支援活動 **地域からの便り(第5弾)**

長崎県本部退職者の会 現退一致で支援の輪の拡大活動を展開

基幹労連長崎県本部退職者の会は、長崎県下の3組織2,988名で平成15年9月9日に結成されました。長崎県本部は、三菱長船OB会、SSKOB会、大造OBゆうゆう会の旧造船重機だけの退職者OBであり、3組織が連携を取り活動を展開しています。また、長崎県退職者連合(長退連)への役員として、顧問・川村力(三菱長船OB会)、副会長・臼井寛(SSKOB会)、副会長・橋本希俊(三菱長船OB会)、幹事・川添郁夫(大造OBゆうゆう会)を派遣しています。

長崎県本部退職者の会が長退連のリーダーとなり、長崎県への政策制度要求を行っています。

長崎県本部3組織の悩みは、OB会員の減少で、定年退職者の減少、会員が亡くなり歯止めが効かない状況です。その対策としてSSKOB会は、OB会独自で人財センターを立ち上げ、会員に対し求人・求職の紹介を行い、会員へのメリット性をアピールし会員拡大を図っています。

さて、参議院比例区候補者「とどろき利治」氏の勝利を合言葉に、三菱長船OB会は昨年12月11日、62校区の会長を対象に「校区会長研修会」を開催しました。その中で重点課題は、本年7月の参議院選挙対策で支援拡大を計り「とどろき利治」氏当選に向け確認を行いました。同時にSSKOB会・大造OBゆうゆう会についても、「とどろき利治」氏の推薦決定を行い、現役組合と連携を取り完全勝利に向け支援拡大活動を展開しています。

シニアクラブの次回総会は10月6・7日を予定

シニアクラブの第5回総会は、10月6日(木)・7日(金)に開催することを役員会において確認しました。場所は現在調整中です。第2弾の地方ブロック懇談会の中で、「今後とも年1回程度、継続的にブロック懇談会を実施してほしい」といった要望も出されており、ブロック運営の今後のあり方については次回総会の活動計画で具体化していきます。

私たちの政策実現のために

とても重要な参議院選挙

どうか皆さん行動してください!

ろうどう組合が掲げる政策を実現し

**きぼうの持てる明るい未来を
築きましょう!!**